

サルカニ合戦

カニ=Krebs ^{かっせん}合戦=Schlacht

5 むかし、むかし、あるところに、おなかをすかせたカニが
いました。カニはもうすぐお母さんになるので、おなかの
5 中にある赤ちゃんたちのためにも、何か食べなくてははいけ
ません。すると、目の前におにぎりが^お落ちてい
るのを見つ
けました。カニはよろこんでひろって食べようとして
しました。
そこにサルが、^{とお}通りかかりました。
「おや、カニさんうまそうなにぎりめしじゃのう。でもわ
10 しは、もっといいものを持ってるぞ」
そういって、サルはカキのたねをカニに見せました。
「にぎりめしは、食べたらおわり。カキのたねは、土にま
いて大きく育てたら、うまいカキの^{じつ}実が、じゃんじゃん
なるぞ。カニさんのために、そのにぎりめしと、このカキの
15 たねを^と取りかえてやろう」
サルはカニが^{へんじ}返事をする前に、ひょいとおにぎりを^と取り^あ
上げて、ぱくりと食べてしまいました。
「ああ、うまかった。ほら、やくそくのカキのたね。^{たいせつ}大切
に^{そだ}育てろよ」
20 サルは、カキのたねをほうりなげると、さっさと行ってし
まいました。のこされたカニは、しょうがなくカキのたね

5

おにぎり=Reiskloß

とおりかかる=vorbeigehen

にぎりめし=おにぎり わし=わたし(vulgär)

10

15

20 さっさと=schnell, eilig, sofort

をひろい、土に埋めて、水をやって、大事に育てはじめました。

「早く芽を出せカキのたね、

出さぬとはさみでちょんぎるぞ」

5 カニがいっしょうけんめいに世話をしたおかげで、カキの木はぐんぐん大きくなりました。

「早く実がなれカキの木よ

ならぬとはさみでちょんぎるぞ」

カニの願いどおり、カキの木には、りっぱな実がたくさんなりました。

ところが、カキの実は木の上のほうになっているので、小さなカニは、はさみがとどきません。こまったなあと思っていると、いつかのサルがやってきました。

「おう、よく育てたね。では、わしが実を取ってやろう」

15 サルはそう言って、カキの木にひょいひょいとのぼり、おいしそうになっているカキの実を、パクパク食べはじめました。

カニはあわてていいました。

「サルさん、わたしにもカキの実を取ってくださいよ」

20 サルはいじわるそうに言いました。

「うるさいなあ。お前はこれでも食らえ」

やる=geben

芽=Knospe

5 いっしょうけんめい=mit aller Mühe, fleißig

10

15

あわてる=sich überstürzen

20

食らう=fressen

サルは青くてかたいカキの実をむしって、カニに投げつけました。

「きゃあ」

青いカキの実はカニのおなかにあたりました。

- 5 そのひょうしに、カニのこうらがわれて、子ガニたちが生まれました。お母さんがニは、大けがをしてみました。子ガニたちは

「おかあちゃん、おかあちゃん」

と言って泣きました。でもお母さんがニは動きません。

- 10 子ガニたちの泣き声を聞いて、くまんばちと、クリと、牛のくそと石うすがきました。

「カニ、カニ、子ガニ、なんで泣く」

子ガニたちは泣いているりゆうを話しました。

「それは、かわいそうな」

- 15 みんなは、子ガニといっしょに涙を流しました。子ガニはいいました。

「このままでは、くやしくてたまらない。おかあちゃんの
かたきを取りに行く」

「それなら、おれたちも力をかしてやろう」

- 20 子ガニたちと、くまんばちと、クリと、牛のくそと、石うすは、いっしょにサルの家に向かいました。

投げつける=zuwerfen

- 5 こうら=Panzer

- 10 泣き声=Schrei くまんばち=Hornisse クリ=Kastanie
石うす=Steinmörser, Steinmühle

- 15

くやしい=ärgerlich

かたきをとる=rächen

力をかす=helfen

- 20

サルの家につくと、クリは、いろりの中にかくれました。
くまんばちは、みそおけにかくれました。子ガニたちは、
水がめの中にかくれました。牛のくそは、家の入り口に「で
5 一ん」とねそべりました。さいごに、石うすが屋根やねの上
のぼりました。

「さあ、これでじゅんびはいいぞ」

しばらくすると、サルがのんきに帰ってきました。

「ああ、さむいさむい」

10 サルはいろりの火ちかに近づいて、手てをあたためようとしまし
た。そのとたん、真まっ赤かにあつくなつたクリが、パーん
はじけて、サルあたまの頭あたまにめいちゅうしました。

「あちちち」

15 サルはやけどにみそをぬろうと、みそおけのふたをあけま
した。すると、かくれていたくまんばちが、チクリとサル
をさしました。いたくてとびあがつたサルは、水でひやそ
うと水がめに近づきました。そこで待まっていた子ガニたち
は、サルの手あしや足あしや耳みみなどを、チョキチョキはさんでやり
ました。

20 あまりのことに、なにがなにやらわからないサルは、あわ
てそとて外そとにとびだしました。すると、牛のくそでズルリとす
べって、ドシーンとしりもちをつきました。

いろり=Feuerstelle

みそおけ=Miso-Fass

みずがめ=Wasserklug

ねそべる=sich hinlegen

5

のんきに=unbekümmert

10 真まっ赤か=feuerrot

めいちゅうする=voll treffen

ぬる=verschmieren

15 とびあがる=aufspringen

あまりのことに=Das ist zu viel. なにがなにやらわからな

20 い=Jmd. versteht die Welt nicht mehr.

しりもちをつく=auf den Hintern fallen

しりもちをつく

そこへ、すかさず、屋根から石うすがドオオオオオオンと、
とびおりました。

いじわるなサルは、ペッタリつぶれて、しんでしまいまし
5 た。

10

15

20

すかさず=sofort, ohne Verzug

5

10

15

20